

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	雪室スノーパル利活用促進事業
事業主体 (連絡先)	山ノ内町雪室利活用協議会 (0269-33-3111)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業 (6) オ その他地域特色、個性を生かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	774,417 円 (うち支援金: 600,000 円)

事業内容

1 雪室コンビニの実施

(8月17日~23日 10時~15時)

- ・首都圏、HP等での情報発信
- ・町内隣組回覧の配布
- ・貯蔵品及び地元農産物の販売
- ・雪室内の散策
- ・雪室の仕組みの掲示
- ・施設前水車によるそば曳き

2 雪室貯蔵品のブランド化事業

・スノーパルブランドの創出を目的としてブランドシールを作成し、雪室貯蔵品に貼付、他商品との差別化を図り販売した。



【8/20 イベント日の様子】

【目標・ねらい】

- ①雪室の認知度アップ
- ②貯蔵品のブランド化の促進
- ③観光資源としての活用
- ④地域資源の魅力向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・コンビニ来場者数 675人: 日平均 96人 (目標 100人) ※イベント日 300人 (目標 200人)

・マスコミ TV局 4社 新聞社 3社

○多くの人に来場いただくとともに、各マスコミに取り上げていただいたことで、町内外に雪室及び貯蔵品や須賀川地区のPRができた。

○貯蔵品にシールを貼付し、販売したことにより、ブランドとしての促進が図れた。

※自己評価 【B】

【理由】

・多くの方に来場していただくともに、マスコミで大々的に取り上げていただいたことにより、今回の最重要目的である雪室の認知度アップやブランド化の促進等がされたと思うため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・スノーパルブランドの販売経路を確立していくとともに、直売所及び観光資源として、他の観光施設やイベントに合わせて実施することで、更なる雪室及び地域資源の利活用を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある